

平成 28 年度 地域づくり活動支援体制整備事業について

1. 背景

地方部において、地域の活性化を図り、豊かで安全・安心な生活を実現していくためには、多様な担い手が参加し、地域資源を活かしながら、地域の現場の活力と知恵により、地域における新たな職や生活サービスを生み育てていくことが必要です。これは特に、人口減少、高齢化等により活力の減退している地方中小都市やその周辺の農山漁村地域において喫緊の課題となっています。

このような状況の中、政府において平成 27 年 8 月に今後概ね 10 年間の国土づくりの方向性を定めた「国土形成計画」が策定されました。ここでは国土の基本構想として、それぞれの地域が個性を磨き、異なる個性を持つ各地域が連携することによりイノベーションの創出を促す「対流促進型国土」の形成を図ることとし、この実現のための国土構造として「コンパクト+ネットワーク」の形成を進めることとしています。そのための具体的な施策の基本的方向の一つとして 多様な主体による共助社会づくりの実現 が掲げられ、「共助社会づくりを行う主体を支援する中間支援組織（2. で詳説）としてのプラットフォームの構築」を図る。」としています。本事業はこの 中間支援組織としてのプラットフォーム構築 を目指したものです。

また、国や地方自治体では地方創生に取り組んでいるところであり、まち・ひと・しごと総合戦略等に基づき地域に応じた様々な施策に取り組んでいるところです。

2. 地域づくり活動・中間支援活動

地方部においては、自分たちの住む地域の活性化に向けて、NPO、企業、住民等、地域の多様な主体が担い手となって参加し、地域の課題に取り組む地域づくり活動がすすめられています。

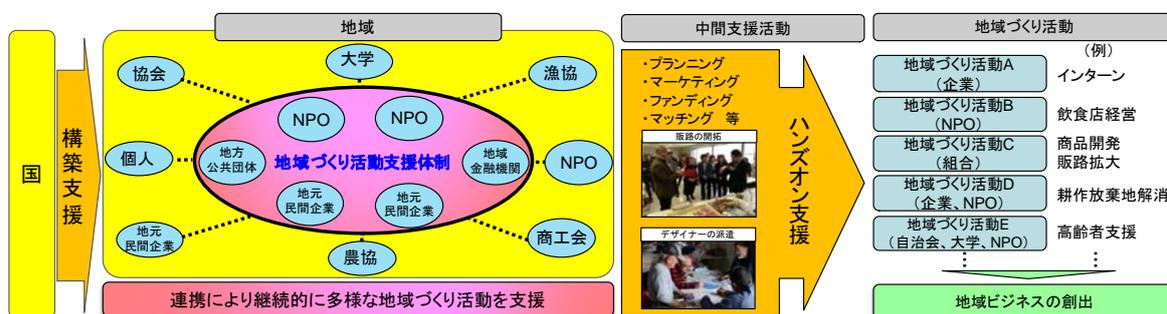
そのうち、事業収入を得ながら地域の課題を解決する 事業型の地域づくり活動（地域ビジネス） は、新たな需要、雇用、資金循環等の様々な効果をもたらすことが期待されることから、その活動促進が望まれます。

一般的に事業を行うには、資金、人材、経営ノウハウなど様々な支援が必要となりますが、これらの地域づくり活動の担い手の規模は小さいため、それら活動の自立・継続に向けて、きめ細かな情報提供やアドバイス、コーディネート等のサポート（中間支援） が必要となります。

そのため、地域づくり活動を行う際には、担い手に対して、商品の販路開拓を手伝う、様々な分野の専門家を派遣するなどアドバイス、コーディネートをしていくこと（中間支援活動）が効果的です。

3. 地域づくり活動支援体制整備事業の概要

中間支援活動を行うにあたっては、単独の組織による活動ではなく、中間支援活動を実施することができる主体が連携し、様々な地域づくり活動に対して持続的に支援していくことが有効です。そこで、国土交通省 国土政策局では平成 26 年度より現場の活力や知恵を結集する仕組みとして、地方公共団体、地域金融機関、NPO、民間企業等の地域の多様な主体が連携した常設の「地域づくり活動支援体制」の構築を推進しています。本事業は、この「地域づくり活動支援体制」が行う事業型の地域づくり活動への中間支援活動に要する経費を補助するものです。



[地域づくり活動支援体制の主な要件]

- ・ 地方自治体、地域金融機関を必ず含んだ協議会等の組織であること
- ・ 事業型の地域づくり活動（地域ビジネス）を支援すること
- ・ 活動エリアが三大都市圏以外であること

上記要件を満たす地域づくり活動支援体制が行う優良な取組みについて募集を行いました。その結果、有識者から構成される選定会議において、当該事業による 中間支援活動及び地域づくり活動の内容が明確であり成果が期待できる取組や 地域が連携して地域資源を活用しようとする取組、本事業後の支援体制や担い手の活動が戦略的で継続的な活動が見込める取組について高く評価され、次項の団体が採択となりました。

平成28年度 地域づくり活動支援体制整備事業 採択団体一覧			
都道府県	団体名	事業名	実施地域
北海道	夕張のあらたな魅力の発掘・発信に向けた中間支援コンソーシアム	夕張の地域資源を活用した地域住民主体の観光振興及び特産品開発・販売への中間支援活動	夕張市
青森県	田舎館村地域づくり活動支援協議会	『田んぼアート』発祥の地、田舎館村の地域ビジネス創出支援事業	田舎館村とその周辺
石川県	金沢ソーシャルベンチャー推進協議会	金沢の里山ビジネス「農作物加工品・ジビエ」の学生連携による経営革新支援	金沢市を中心とした石川県・北陸地域
長野県	信州上田産ブランディング協議会	信州上田地域における地元農産物を活用した6次産業化に対する中間支援活動	上田市、東御市
広島県	安芸高田「元気なまちづくり」支援協議会	甲田地域の遊休資産とJR芸備線を活用した「元気なまちづくり」に対する中間支援活動	安芸高田市 甲田町
福岡県	久留米餅ブランド推進・商品開発協議会	筑後エリアにおける久留米餅のブランド化推進・商品開発に対する中間支援活動	久留米市を中心とした筑後エリア

4. 選定結果・スケジュール

平成 28 年

- 4 月 4 日 記者発表、公募開始（～5 月 12 日）
- 6 月上旬 有識者による選定委員会にて採択 6 団体を選定
- 6 月 14 日 国土交通省にて採択 6 団体を発表
- 6 月下旬～ 各団体ヒアリング
- 7 月～ 各団体交付決定・事業開始
- 11 月 29 日～30 日 交流会（中間報告会）

平成 29 年

- 2 月 27 日 最終報告会（一般公開方式）
- 3 月 3 日 事業期限

5. 地域づくり支援ネットについて（H28 事務局：日本能率協会総合研究所）

全国に存在する地域づくり活動支援体制が持続的に活動していくため、また各体制の構築を全国的に推進していくため、体制間の交流、連携、情報発信等を行う全国ネットワークが必要です。そこで、各体制間のノウハウの共有、情報交換等を担う、全国の支援体制を重層的に支える「地域づくり支援ネット」の形成を進めています。

本年度も、地域づくり支援ネットによる交流・連携促進のための取組の一環として、交流会、各体制への専門家情報提供や、体制間での個別交流等を実施しています。



6. その他

本事業に関連したサイトを下記の通り開設しておりますので、ご参照ください。

Facebook「地域づくり支援ネット」

<https://www.facebook.com/chiikidukurisien>

地域づくり支援ネットホームページ

<http://chiikidukurisien.jp/>

国土交通省 国土政策局 多様な主体による地域づくりホームページ

http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/kokudoseisaku_chisei_tk_000061.html